

Bushnell®
GOLF

PRO

取扱説明書

XM



ゴルフ用レーザー距離計

ピンシーカープロXMジョルト

はじめに

この度は、ピンシーカープロXMジョルト(以下ピンシーカー)をお買い求めいただき誠に有難うございます。

この精密計器はゴルフに関わる様々な場面において目標物までの距離測定が行われることを目的に、最新のレーザー技術が注入されています。

ピンシーカー専用開発されたマイクロプロセッサが組み込まれ、レーザー波が目標物に反射し戻ってくる時間差を高速演算することにより瞬時に距離を算出します。

目標物側に反射板などを必要とせず、測定者の視界上に全ての数値が表示される測量器と光学機がドッキングした画期的なシステムと言えます。

表示単位/精度と感知距離

計測時の表示単位/精度は1ヤード/約±1ヤード以内(最良値)です。グリーン上のピンフラッグ、バンカーエッジ、池の淵、ドッグレグの木立、コース上のカートを目がけても測定できます。

最高に反射の良い状況で1300ヤード/ピンフラッグ測定時500ヤード(最良値)まで感知する性能を持ちますが、感知距離は目標物の反射率、形状、大きさ、色、手ぶれなど測定時のさまざまな環境により制限されます。

測定ボタンを押している時間などにも左右されますが、満充電状態から約3000回の測定が可能です。

初期設定

- ①後述の「セットアップモード」を参照の上、ご使用される測定単位の設定を行います。
- ②電池残量を確認し、減少している場合は充電をします。

ご使用時の警告と注意

- ・決して強い光や太陽を覗かないでください。失明の原因になります。
- ・レーザーは安全な1クラスアイセーフレーザーを使用していますが、近距離で直接レーザー口を覗くことは絶対にお止めください。
- ・ピンシーカーはゴルフ用精密機器です。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・防水性能に関わらず雨や湿気にはご注意ください。内部結露や浸水の原因となります。完全防水モデルであっても濡れた後は、拭き取り、乾燥させるなどの対策は必要になります。
- ・極端な温度環境下(低温/高温)では誤作動を起こす可能性があります。
- ・故障や内部光学システムに影響を及ぼしますので、直射日光を当てたり気温40°Cを超えるような場所(炎天下の車中など)に放置することはお止めください。
- ・レンズの手入れはブロワーをご使用ください。表面の特殊コーティングが剥がれる可能性がありますので、布などで強く拭かないでください。
- ・ジョルト機能は常には作動しません。詳細は後述します。
- ・本機の勾配表示は勾配率(%)表示になります。角度(°)表示とは異なりますので、ご注意ください。また±2%(±1°)は本機精度内となります。
- ・レーザーの特性上、雨天時はレーザーが雨に乱反射し、正常にレーザー放射できない場合があり、測定に影響を及ぼします。
- ・IPX7:規定の圧力、時間で水中に沈めても影響がないように保護。
- ・防水性能は雨天時の動作を保証するものではありません。
- ・ピンシーカーには防塵性能がありません。外部から塵やゴミが入り、レンズ内に現れることがあります。
- ・液晶の特性上、レンズ内の黒点やノイズは完全に取り除くことはできません。小さな黒点やノイズがあっても測定には影響なく正常品です。
- ・本機はリチウムイオン電池が内蔵されています。分解や電池の交換はできません。
- ・リチウムイオン電池の膨張や液漏れが見られた場合は、すぐに使用を中止し、サポートセンターまでご連絡の上、以降絶対に使用しないでください。最悪の場合、爆発・発火の危険性があります。

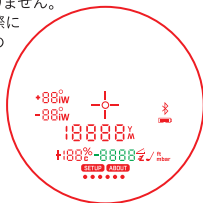
本体主要箇所



液晶ディスプレイ

電源オフ(液晶表示がない)状態から電源ボタンを押したままにすると全点灯(液晶表示が全て点灯)状態になります。これは液晶表示のテスト画面です。このテスト画面で表示される電池容量は実際の容量ではありませんので、目安にはなりません。テスト画面から発射ボタンを離した際に測定画面に移行しない場合、電池の容量不足の可能性があります。電池の充電をお試しください。

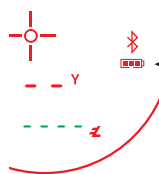
※前の充電から時間が経過している場合、自然放電(消耗)している可能性があります。



スイッチオン

ピンシーカーを構えて、適当な屋外の景色を見ながら発射ボタン(本体上部のボタン)を押します。

電源が入り、視界上にレチクル(透明な液晶画面)が表れます。測定された数値やモードはすべて視界上に表示されます。



電池残量表示

電池の消耗を防ぐため無操作後、約10秒で自動的に電源が切れます。

※電池残量表示は最初だけ表示され、測定を開始すると、消えます。

充電

充電ポートに付属の充電ケーブル(USB-C)を差し込み、充電を開始します。充電時間は約4時間(環境により前後)です。



充電中：緑のLEDランプが「点滅」
充電完了：緑のLEDランプが「点灯」



※充電ケーブルを繋いだままにすると、充電が完了しているにも関わらず、LEDが「点灯」に切り替わらない場合があります。ケーブルの抜き差しをお試しいただくか、一度ご使用後、容量を減らしてから再充電してください。

※付属品でないケーブルや急速充電など仕様の異なるケーブルを使った場合の動作は保証されません。また、それにより生じた損害について、当社は一切の責任を負いません。

※リチウムイオン電池は劣化します。長時間使用しない場合なども、定期的な充電を行い、半分程度(約50%)の残量を保って保管してください。

※電池残量がない状態で60日以上放置した場合、故障につながりますので、絶対におやめください。

※充電完了後は充電したままにせず、必ずケーブルを外してください。過充電は電池の劣化や高熱化による本体故障の原因になり、最悪の場合、発火・発煙の危険性があります。

※頻繁な充電は電池の劣化を早めますのでお控えください。

距離測定のやり方

ブレずに測定を行うため、両手で包み込むように持ち、脇を締めてしっかり距離計を支えます。

電源が入った状態で、接眼レンズから目標物を覗きます。ピントはピント調整リングで調整してください。

※裸眼の場合は接眼レンズから少し(約15mm前後)離すと見やすく、メガネなどをかけている場合はそのまま覗いてください。

最短5ヤードから測定ができます。

- 1) 電源を入れた状態で、目標物に液晶中央の丸(○)を重ねます。 ※ピンを狙う場合は、レーザー照射面積の広いフラッグ部分に重ねます。フラッグがなびいていない場合はピンの根本やグリーンエッジなどのできるだけ照射面積の広い部分を狙ってください。
- 2) 発射ボタンを1秒ほど押し、離すと一定の反射がある目標物であれば視界上に距離が表示されます。



※測定し難い反射の少ない対象は、「暗い色」「対象が小さい」「レーザー放射に正対していない」といった対象になります。

※測定値が表示されない場合、反射が少ない対象の可能性もあります。発射ボタンを長押しして測定を行ってください。

※レーザーの特性上、目標の後ろの状況により背景の測定結果を表示する場合があります。

スロープスイッチ機能

ピンシーカープロXMジョルトは本体左側面のスライド切替スイッチを操作することにより、「直線距離(2点間距離)」と同時に勾配を読み込んだ「打つべき推奨距離」を表示する「スロープモード」、直線距離(2点間距離)のみ表示の「直線距離モード」の二つの測定モードを使い分けることができます。



【直線距離モード】

競技使用可能

【スロープモード】

※後述するCLUBモードがオン(かつMy Bagにデータがない状態)になっているとスロープスイッチをスロープモードの状態にしても推奨距離が表示されません。設定をご確認ください。

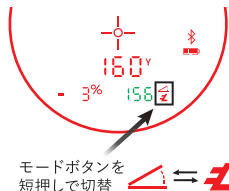
スロープ機能 ※スロープスイッチ機能オン時

ピンシーカーの特徴的なスロープ機能は目標物までの直線距離だけでなく、あなたと目標物との勾配角度とショットの推奨距離を算出し、視界上へ表示します。

直線距離の下に勾配角度と打つべき推奨距離が表示されます。

右図の測定値では「直線距離は160ヤードだが下げ勾配が-3%あるので、156ヤードとしてショットせよ」となります。

右図とは逆に勾配角度がプラス表示の場合は上げ勾配となり、推奨距離は直線距離表示よりも長く表示されます。



※エレメント機能がオン(▲が表示)の場合は、勾配に加え、気温・高度(気圧)が推奨距離に加味され、標高・時間帯・季節など個々の環境下に適応した距離を導き出します。エレメント機能がオフ(△が表示)の場合は、勾配のみが推奨距離に反映された距離を表示します。

※スロープ機能では上下±36%までの勾配率を測定します。ピンフラッグのみならずバンカー、池の淵やグリーンのアゴなどへの測定にも有効です。起伏による距離の差を体感し、身につけることが大切です。

※できる限り手ブレを抑えてレーザー放射することが大切です。特にピンを狙う場合はしっかりと構え、発射ボタンを押した反動で機器が下がってしまわないように底面に手を添えるなどの対策が有効です。

※エレメント機能・ホームエレベーション機能はスロープモード時のみの機能です。直線距離モードにすると各機能は自動的にオフになります。

ダブルジョルト&ピンシーカー機能(自動)

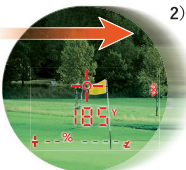
ピンシーカー機能は背景も含めた複数の反射情報から最も近くの測定結果を優先的に表示する機能です。

これによりピンフラッグなど細い目標物を狙う場合も、目標物の背景を誤感知することが少なくなります。さらにピンシーカー機能作動時には、本体がビビッと振動すると同時に視界上にレッドリングが発光し知らせるダブルジョルト機能が働き、視覚、体感で測定完了を伝えます。

※ダブルジョルト&ピンシーカー機能は常には作動しません。複数の反射情報を感知した測定時のみ作動します。

作動の確認を行う場合は、次の手順をお試しください。

- 1) まず背景に液晶画面中央の○を合わせた状態で測定を行い、一度背景の測定値を表示させます。
- 2) 発射ボタンを押したまま、○をピンフラッグの前へ移動(スライド)させます。
- 3) 一番短い距離を優先して表示する機能が働き、測定値が更新されると同時に振動(ジョルト)します。そこで更新された測定値がピンフラッグ(ピンフラッグ測定時)になります。



セットアップモード

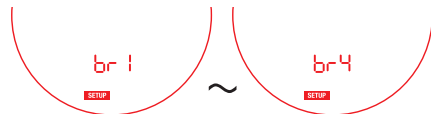
ピンシーカーの基本設定を行うのがセットアップモードです。電源が入っている状態でモードボタンを長押し(約3秒)することによりセットアップモードへ入ります。

液晶上に「SETUP」と表示され、記号が点滅します。

モードボタンを短く押すと、記号を次の項目へ繰ることが出来ます。選択対象が液晶上に表示されている状態で、発射ボタンを押すと確定します。

新たな操作がない場合、自動で電源オフとなります。途中で電源が切れてしまった場合は設定完了していませんので、再度行ってください。

セットアップモードに入り、最初の設定は、液晶表示の明るさ調整(※br1～br4の四段階)となります。



測定環境に合わせて設定すると周囲が暗い場合や薄暮でも表示が読みやすくなります。

※数値を上げるほど明るさが上がり、表示のノイズが目立ちますが故障ではありません。

明るさ調整完了後、「Y」が点滅しますので、発射ボタンで選択します。※ここで「M」が点滅している場合、モードボタンを押して「Y」にしてから発射ボタンを押します。

その後、「Bluetooth設定」→「推奨クラブ機能」→「ホームエレベーション機能」→「機器情報表示(シリアル番号/ソフトウェアver.番号)」と続きます。

Bushnell GOLF アプリ連携

本機はアプリと接続しなくても使用できますが、連動させると本体設定の切替をアプリ側から変更できたり、アプリ上でダウンロードしたコースレイアウト表示やスコア管理、ラウンド分析などの機能を使用することができます。

アプリから変更可能な項目

- 表示の明るさ(25%[br1]~100%[br4])
- 単位(ヤード/メートルの切替)
- エレメントのオン/オフ
- ホームエレベーション値
- 推奨クラブ機能のオン/オフ

※事前にBushnell GOLFでのアカウント登録が必要になります。
※ご使用にはご購入製品のシリアル番号が必要になります。

Bushnell GOLF アプリを下記QRコードからダウンロードします。



アプリの指示を参考にマイデバイスにご購入機器を登録し、ご活用ください。

※OSのバージョンやBluetoothのバージョンなどにより一部対応していない場合があります。ご了承ください。

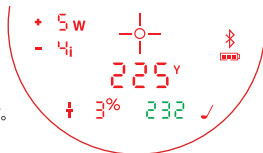
Bluetooth機能

セットアップモード内の「:Bluetoothマーク」が表示されている時にモードボタンで表示を繰り返し、発射ボタンで選択できます。

- ・On : Bluetoothを「オン」にし、接続可能状態にします。
- ・Pair : ペアリングを行います。
下部の6桁の数字がPIN(パスキー)になります。
- ・OFF : Bluetoothを「オフ」にします。

推奨クラブ機能

オンにすると弾道測定器を利用して取得したショットデータを「My Bag」から参照し、よりパーソナルなデータが推奨距離(打つべき距離)に反映されます。



- ※「My Bag」にデータをお持ちでない方はOFF(:オフ)にしてください。
本機能は別機種の弾道測定器を利用して固有データを「My Bag」から取得しないと使用できません。
※「My Bag」にデータがない状態で「ON:オン」にすると推奨距離が表示されません。

ホームエレベーション機能

各クラブの飛距離を最も把握している(最もプレイする)場所(ホーム)の標高を入力することにより、プレイするゴルフ場に応じて、標高の変化を読み取り、自動で推奨距離に反映させる「ホームエレベーション機能」を搭載しています。

- 1) セットアップモード内の「ELE」が点滅している時、下部に現在設定しているホームの標高が表示されます。(初期設定は「0000」)



- 2) モードボタンで「Adj」に切り替え、発射ボタンを押すとホームの標高を入力することができます。モードボタンで数値を繰り、発射ボタンで確定します。



※一度設定した後はホームの標高を変更しない限り、値を更新する必要はありません。

※メートル値で入力したい場合、前述セットアップモードで「M」に変換し、入力が終わったら「Y」に戻してください。

※入力した標高のメートル/フィート値から換算するため、ホームの標高が異なる場合、推奨距離も異なります。また換算値から計算する仕様上、ホームエレベーション&エレメント機能を使用している限り、同機種間でも推奨距離が同じになることは少なくなります。

※換算式：フィート÷3.2808＝メートル/メートル×3.2808＝フィート

※設定範囲は-250ft/-50m～+9990ft/+3040mです。

設定値は50ft/10m刻みで推移します。入力しきれない場合は近い数値を入力してください。

【例】ホームの標高が100フィート地点の場合

(2)の入力値を+100で入力します。その後、他のゴルフ場へ移動すると基準となる標高(100ft)へ、本機が感知したゴルフ場の標高を計算に加えた上で、更に気温・気圧を加味して推奨距離を算出します。

- 上記の特性上、エレメント機能がオンになっている場合、測定条件次第では勾配条件とは逆の算出をすることが起こります。

例：打ち下ろし(勾配表示がマイナス)なので、通常であれば推奨距離は直線距離より減算された数値が出るはずだが、その他要因(標高・気温・気圧)でボールが飛ばない条件が揃っている場合は、推奨距離が直線距離を超える場合がある。
※逆の打ち上げ(勾配表示がプラス)条件でも同様。

- エレメント機能はすべての状況で必須の機能ではありません。気圧の差が少ない場合や、平坦な場所での測定時に、推奨距離が体感以上の数値になる場合があります。あくまでも目安の参考距離としてお考えいただき、必要に応じてオフにしてください。

BITEマグネットマウント



本体右側面に強力なマグネット(磁石)が内蔵されています。カートフレームなど、鉄素材に装着することが可能です。

【警告と注意】

- ・搭載のBITEマグネットにはネオジウム磁石を使用しているため、ペースメーカーなど電子医療機器を装着した人およびその他の電子医療機器へ影響を与える可能性があります。電子医療機器からは十分距離をとってください。電子医療機器使用者には磁石に近づきすぎないように注意を促してください。
- ・ネオジウム磁石は広範囲に渡り、強力な磁場を形成します。テレビやパソコン、クレジットカードや時計、補聴器など電子機器や記憶媒体を破損させる恐れがあります。電子機器には近づけないでください。
- ・磁石を取り付ける際、本機と取付対象間に指を挟まないよう十分に注意してください。
- ・カートの揺れなどで本体が落下する可能性があります。マグネットでカートに装着する際は、設置場所にご注意ください。
- ・接眼レンズが(時計の)1時~2時の場所に来るように取り付けてください。

※ピンシーカー、ブッシュネルは日本語・英文字共に登録商標または商標です。本取扱説明書の一部または全部の無断複製・転載・表現の引用を禁じます。本取扱説明書の著作権は(株)阪神交易ブッシュネルサポートセンターに帰属します。

ピンシーカープロXMジョルト 仕様

測定性能

測定可能距離	: 5~1300ヤード	測定精度	: ±1ヤード以内
ピンフラッグ測定可能距離	: 5~500ヤード	表示単位	: 1ヤード
レーザー	: クラス1アイセーフレーザー		
機能	: ダブルジョルト機能、エレメント機能、ホームエレベーション機能、スロープスイッチ機能、BITEマグネットマウント、スロープ機能、ピンシーカー機能(自動)		

光学性能

望遠倍率	: 6倍	対物レンズ径	: 18mm
アイレリーフ	: 16mm	ひとみ径	: 3mm
レンズ	: フルマルチコート(多層膜コーティング)		
視度調整	: ±3.5°(ピント調整)		
ディスプレイ	: 赤・緑ハイコントラストOLED		

躯体性能

サイズ/重量	: 40×98×70mm / 192g
防水機能	: 完全防水構造(IPX7)
電源/充電時間	: 充電式バッテリー(USB-C) / 約4時間(環境により前後)
付属品	: 専用ケース、USB-Cケーブル、日本版取扱説明書、日本版保証書

アフターサポート

お買い上げ後、1年以内に通常使用で発生した不具合は無料で点検させていただきます。またその後も有料での製品サポートを承りますので、お買い求めの販売店もしくは(株)阪神交易:0120-804058までお問い合わせください。

※精密機器のため、お時間をいただきますことを予めご了承ください。ますようお願い申し上げます。